実技試験：「音源審査」におけるＤＶＤ音源提出方法について

(1)実技試験が「音源審査」となる入試区分及び試験場（作曲コース以外）

HONORS 特待生入学試験を除く，実技試験を実施する全ての入試区分で，希望する場合は「音源審査」を実施する。ただし，作曲コースについては，「音源審査」は行わず，本学試験場及び学外試験場において実技試験を実施する。

※実技試験内容などの詳細は実技試験曲目一覧を参照。

管弦打楽器の受験生は，試験曲の楽譜を（変更やカットを含み，記入事項があれば記入して）提出すること。

(2)「音源審査」におけるＤＶＤ提出について

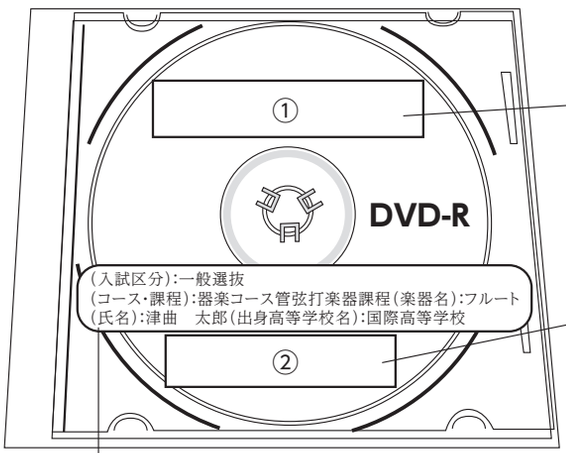
音源提出にあたっては，下記事項を十分熟読のうえ，正しく提出すること。

Ａ．ＤＶＤ音源提出要領

提出の形態	作成上の注意	作成時期	提出部数
ＤＶＤ－Ｒ	①実技試験曲目一覧を確認のうえ，実技試験カードに記入した曲目順に，課題曲の演奏を収録すること。 ②演奏を撮影する場所などについては特に定めない。 ③管弦打楽器の受験生については，無伴奏とする。なお，声楽コースの受験生については，必ずピアノ伴奏をつけたうえで演奏を収録すること。 ④ＤＶＤ－Ｒに標準モードで収録すること。 ⑤ＤＶＤ－Ｒの表面とケースに『入試区分』,『氏名』,『出身高等学校名』，志望する『コース・課程』,『「楽器名」又は「声種」』,『演奏曲目』をそれぞれ記入すること。 （※記入方法など詳細は「Ｂ．ＤＶＤ表面・ケースへの記入事項について」を参照） ⑥受験生本人の演奏を収録すること。 ⑦映像の冒頭に受験生本人（演奏者）の上半身アップ（正面）を５秒間，必ず収録すること。また，演奏時における受験生本人（演奏者）の顔が判別でき，手元などがよく見えるように収録すること。 ⑧**収録は，始めから終わりまで，すべてを通して行うこと。** **※上半身アップから全試験曲を演奏し終えるまで，収録を止めてはならない。** ⑨ＤＶＤ－Ｒに記録する際は，PC以外の機器で視聴出来るよう，必ず互換性を維持すること。 ⑩収録したＤＶＤ－Ｒについては，画質，音質などを必ず確認のうえ，提出すること。 ⑪提出にあたっては，破損に十分留意し，適宜エアークッションなどで梱包のうえ，出願書類とともに提出すること。 ⑫提出された，ＤＶＤ音源については，一切返却しない。	出願前３ヵ月以内の演奏とする。	ＤＶＤ－Ｒ １枚

B．ＤＶＤ表面・ケースへの記入事項について

「音源提出」にあたっては，受験生本人の演奏を収録したＤＶＤ－Ｒ（１枚）のＤＶＤ表面及びケースに必要事項を必ず明記のうえ，提出すること。（以下の記入例参照）



ＤＶＤ表面：記入例①

（入試区分）：一般選抜
（氏名）：津曲　太郎
（出身高等学校名）：国際高等学校

ＤＶＤ表面：記入例②

（コース・課程）：器楽コース管弦打楽器課程
（楽器名）：フルート
（演奏曲目）：シャミナード：コンチェルティーノ　op.107

ケース：記入例

（入試区分）：一般選抜
（コース･課程）：器楽コース管弦打楽器課程　（楽器名）：フルート
（氏名）：津曲　太郎　（出身高等学校名）：国際高等学校

参考 表記について

コース・課程	「楽器名」又は「声種」
器楽コース　ピアノ課程 器楽コース　ピアノ演奏家課程	ピアノ
器楽コース　管弦打楽器課程 器楽コース　管弦打楽器演奏家課程	主専攻とする楽器名
声楽コース	ソプラノ メゾ・ソプラノ アルト テノール バリトン バス

※メモリカード，USBメモリで提出希望の方は，入試・広報課へお問い合わせください。